

JR東労組

本部OB会

ニュース

No. 205 2014年 9月発行

東日本旅客鉄道労働組合
東京都渋谷区代々木2丁目2番6号
JR新宿ビル13F 〒151-8512
Tel. 03-3375-5740 (代)
発行責任者 古川 建三

第7回ブロック別地本OB会三役会議

たしろかおる再選準備で

OBは一人10人以上の紹介者を



真剣な議論をする東北ブロックの三役の皆さん

本部OB会は、お盆も過ぎた8月20日から28日の期間で、全国4ヶ所に分かれて「第7回ブロック別地本OB会三役会議」を開催しました。

この会議は、各地本OB会の三役が日頃から抱えている悩み等を出し合い、その悩みを参加者の共通のものとして教訓化し、OB会組織の強化に結びつけようという目的で毎年8月に開催されているものです。

会議の主なテーマ

今回の会議では

- ① たしろかおる再選準備の取り組みについて
- ② 各種署名活動について

を中心的な議題にして議論しました。その結果、「たしろかおる再選準備」の取り組みでは、現役の若い組合員と連携を強め、「OB会会員一人10名以上の紹介者」を目標にする事が決まりました。また「核兵器廃絶1000万署名」の取り組みは、紹介

者カードの取り組みと切り離して別に行う事としました。

悩みも多いがしかし！

今回の会議では、4ブロックとも初めて会議に参加した三役のフレッシュ発言が特に目立ち、大いに会議を盛り上げていました。

普段は愚痴もこぼさない役員も、この日は、支部OB会の財政が確立していないので何とかならないのか、最近OB会の行動が多くなって、家族から「また出かけるの」と云われる。知り合いの会員が体調をくずす人が目立って「自分も・・・」と思うと寂しくなる等、色々な悩みが出されました。

多くの紹介者を！

会議では、普段思っている事、悩んでいる事などを出し合って、少し軽くなった気分になり、当面この秋の「たしろかおる再選準備」に向けた取り組みの成功のために、全力を上げて取り組むことを意思統一して終了しました。

ブロック名	開催日	開催場所	参加地本と参加者数
東 関 東	8月20日	本部	本部6、水戸4、千葉5、東京6
西 関 東	8月21日	本部	本部6、横浜4、八王子4、大宮5
上 信 越	8月25日	高崎地本	本部4、高崎7、新潟4、長野6
東 北	8月28日	盛岡地本	本部4、盛岡6、秋田4、仙台4

2014年秋 JR東労組OB幹事会・地本OB担当者合同会議

- ★ 日時 2014年10月7日(火) 13時
- ★ 場所 JR東労組本部・大会議室
- ★ 参加者 本部OB会三役・幹事 地本OB担当者
- ★ 議題 ① 第18回定期総会以降の総括
② 当面する取り組み
③ その他

営業職場の退職者の皆さんへ

JR東労組OB会は、営業職場の退職者に健康で楽しい第二の人生を送ってもらうために、「JR東労組OB会」への加入を奨めています。皆で声をかけましょう。

希望者は 03-3375-5740 (代) まで

水戸

副会長を2人体制に強化

7月21日13時より、水戸工務総合詰所3階、23名の参加者で「第17回定期総会を開催しました。

来賓には鈴木副委員長、本部OB会の島崎副会長、伊藤事務局長、川崎事務局次長が参加しました。

- ◆ 発言は5名の委員からありました。
- ◆ 被災者支援は、バランスよくやろう
- ◆ 常磐線の全面復旧を一日も早く
- ◆ 午前中にグラウンドゴルフをやって、午後から総会をやって成功した

総会は、営業職場や工務職場出身の会員が目立ち、9月の「国会バスツアー」や、11月の秋レク等の取り組みを決定して終了しました。

懇親会は、駅前の居酒屋で行われ、秋の連続行事を成功させる決意を述べあいながら、旧交を温め合いました。

新役員体制
会長 鈴木 孝雄
副会長 狩谷 光治 栗村 幸雄
事務局 江幡 隆則

わが町の 有名人

千葉地本OB会 B会が紹介する有名人は、「OB会の御意見番」渡辺春樹さんです。

渡辺さんが働いていた職場は東京の三鷹電車で、そこで「動労三鷹支部」を立ち上げて、初代委員長になりました。その後、組合活動中に当局からテッチ上げられ、裁判で罰金刑を受けた経歴を持っています。

千葉地本OB会 J Rに採用されたのを見届けて、49歳の時「三本柱」で早期退職しました。千葉地本OB会が結成されると、千葉県に在住していた渡辺さんも加入しました。そして10年あまり幹事として活躍し、今年の総会で副会長になりました。渡辺さんを一躍有名にしたのは、日本国憲法の前文を始め、12の条文を全部暗記して披露できることです。この年齢で憲法の条文を暗記するのは並大抵な事ではなく、「平和活動のために」

OB会の御意見番



渡辺さんは、よく活動も行っていきます。

「生涯労働者でありたい」と云っています。実直で曲がった事が大嫌いな性格から、OB会の仲間からは「御意見番」と云われ、その闘う姿勢に学んでいます。(茂原市在住・渡辺春樹・78歳)

全地本OB会 定期総会を終えて

本部OB会や、各地本OB会の定期総会の報告を4回(2020、2021、2022、2023、2024)にわたって、「本部OB会ニュース」で連載してきました。今月号の水戸地本OB会の報告も全て終了しました。

工夫をこらした総会

今年の総会では、J R東労組を取り巻く情勢を聞く「講演会」との組み合わせ、またビデオ上映やJ R東労組の運動や「たしろ」かおる「議員の活動を紹介するところ」もありました。これは退職しても「現退」致「生涯労働者」を貫こうとするJ R東労組OB会の姿勢を表した工夫をこらした総会です。

「たしろ再選準備」に 万全の体制を築く

総会では、どのOB会でも5〜8名の会員が発言して「たしろ再選準備」に向けた決意やレクを通じた会員の獲得を目指すことが発言されました。また、この取り組みを成功させるために、地本OB会の役員を増やす等役員体制も強化されました。

来年に向けての課題

今年の総会では、何処の地本OB会も財政上の問題から、参加者を抑制せざるを得ない状況に陥っていました。従って来年以降は、多くの参加希望する会員をどの様にするのか知恵を出さなければなりません。各地本OB会もしっかりと今年の定期総会を総括し、会員の負担に配慮するOB会をつくりましょう。

OBパワーで梅雨空を吹き飛ばす！ 仙台支部OB会で交流登山を実施

7月27日「伊達山楽会」恒例の登山大会が、山形県蔵王温泉の龍山で開催されました。参加者は35名で、一年ぶりの再会を喜び合いました。今年天候が異常気象で登山の開催が危ぶまれていましたが、晴れ男の願いが通じ、梅雨空がみるみる晴れ、快適な登山日和となりホッとしました。参加者は樹林帯の急登で年齢を感じながら、口だけは達者でした。山頂に到着すると展望が開けて素晴らしく、南に中央蔵王の山々、東に雁戸山、神室岳と急峻な山稜が見えました。山頂ではまず名酒「浦霞」で乾杯し、狭い頂はイカの姿焼きのにおいが漂い、瞬間に宴会場と化しました。帰りは全員無事元気に下山し、宿泊所の温泉で登山の疲れを癒し、宴は夜半まで続きました。翌日の朝食会場にもまたビールが並び、次回の福島での再会を約束して帰路に就きました。よく飲んだ交流登山でした。(仙台地本OB会)



参加者全員で記念写真

高崎地本OB会が恒例の納涼会を開催 皆さん飲み過ぎには注意を！

8月1日、高崎地本OB会恒例の納涼会がエテルナ高崎において、35名の爺さんたちによって開催されました。「おお、元気だったか」、「まだ、生きていたのか」、こんな挨拶から始まり、近況や、昔話、そして趣味の話などで盛り上がりました。巷では、年寄りが集まると医者や薬の話と相場が決まっている中で、わがOB会のメンバーは元気なのか、あまなのか、はたまた本当にすごいのか、医者や薬の話は全く出ませんでした。ともあれ、アツという間の2時間でした。工務関係の参加者は、昨年より一人増えて4人、次回も新たな参加者のつてをたどって5人以上を超えていきたいと思ひます。営業関係も、昨年より一人増えて6人が参加しました。「今後も、工務・営業の会員ともしっかりと連絡を密にして、組織の強化へつなげていきたい」と関谷会長が力強く述べていました。また88歳の地本OB会最年長の綱川順一郎さんも、元気な姿を見せ会場を和ませていました。本部OB会から頂いたタオルは、演壇に広げ参加者に披露しました。OB会のタオル、ありがとうございます。(高崎地本OB会)



懇談する仲間の皆さん